神戸市立有瀬小学校　学校評価報告書

学校づくりの目標	心豊かにたくましく生きる神戸の子供を育む				
内容		重点的な取組み	評点（４段階）	特記事項（学校自己評価）	関係者評価（学校自己評価に対する学校運営協議会の意見等）	学校自己評価、関係者評価を踏まえた次年度の重点的な取組みの案
育てたい子供の姿	夢・愛・力を育む					
育てたい子供の姿	夢 (目標をもって前向きに生きる子)	「さあ、やるぞ！」とやる気になる、子供も教師もワクワクする魅力的な授業づくりを目指して研修を行う。	3	全体やグループで全員が授業を公開し、互いに学びのある研修を行うことができた。研究授業だけでなく、魅力的な授業ができるよう今後も継続して研修を進めていく必要がある。	教員研修では授業研修だけでなく、社会の動きを知ることも必要ではないか。	職員研修では、児童の実態をもとに授業研究のテーマを検討していくとともに、社会人としての成長につながる研修も取り入れる。
育てたい子供の姿	愛 (自尊感情をもち相手の気持ちも考えられる子)	個性を生かし、互いに認め合い助け合う集団を目指した人権教育に取り組む。	3	互いの個性を受け止め、認め合える児童が育っている。しかし、自分に自信が持てず、友達への関わり避けようとする児童や攻撃的な言動になっている児童もいる。	地域でのスポーツ活動を見ていると、高学年が低学年の面倒を見ていることがわかる。保護者の協力が必要だが、お互いに協力して地域で育てるといいつつ難しいこともあると感じる。	保護者・地域の方のサポートを得ながら、自分に自信をもち、互いの個性を認め合う児童を育てる授業や学校生活の様々な活動に引き続き取り組む。
育てたい子供の姿	力 (自ら学び続ける子)	子供の実態に合った授業づくり、「わかった」の実感できる指導・支援の工夫を学年に応じて行う。	3	授業や宿題に対して真面目に取り組む児童が多い。本格的に始めた「じぶん学習」では、進んで取り組む児童と何をしてよいのか悩む児童がおり、意欲を持たせる工夫を検討していく。	学童などの様子を見ても、家庭での学習リズムがわかる。決まったことはできる子供が多い。	これまでの取り組みの課題を改善しながら、楽しく「じぶん学習」ができるよう学年に応じた支援を行う。
全市的に推進すべきこと	①いじめ防止対策に関する取組み	全職員で情報共有を行い、担任・学年・生指担が中心となって解決に取り組む。	3	児童や保護者からの訴えに対して、担任を中心に丁寧に対応し、その後も見守りを行った。保護者の不安を聞き取り、学校として信頼を得られるよう、双方への見守りや指導を今後も続けていく。	特に意見なし	引き続き丁寧に見守りを続けていく。
全市的に推進すべきこと	②不登校支援の取組み	担任だけでなく、スクールカウンセラー、通級担当、生指担と連携を取りながら、児童・保護者の意向を聞き取り、別室登校やオンライン授業に参加できるよう取り組む。	2	欠席の続く児童には、保護者と相談しながら登校できる機会を考え、働きかけた結果、別室登校やオンライン学習ができるようになった児童もいる。来年度より設置予定のサポートルームを有効活用していきたい。	スクールカウンセラーはどのように活用されているのか。遅刻が常態化している子供を見かける。家庭とどう連携しているのか。	担任をはじめ、スクールカウンセラー、通級教室担当、生活指導担当が情報共有しながら保護者と連携していく。来年度設置予定のサポートルームを活用し、安心して登校し学習できる場づくりを進めていく。
全市的に推進すべきこと	③教職員の業務改善	戸締りや施錠担当を決めることにより、退勤時刻を意識して効率よく業務を進める。	3	３～６年生の教科担任制、２年生の交換授業により、教材研究に十分時間を取った授業を行うことができた。昨年度よりも退勤時間を早めることもできた。	特に意見なし	質を落とさず、さらなる業務改善を推進する。
全市的に推進すべきこと	④「すぐ-る」の活用、ホームページにおける情報発信	学校だより・保健だよりや各種案内、お知らせ等をすぐ-るで配信する。ホームページの更新回数を増やす。	3	学校から保護者への文書は、原則すぐ-る配信としたことで、確実に情報を伝えることができるようになった。ホームページでは、学校生活の様子をほぼ毎日発信し、保護者からも好評を得ることができた。	特に意見なし	さらに分かりやすい情報発信を行う。
全市的に推進すべきこと	⑤学校生活のルールや決まり（校則など）について	児童・保護者の意見を聞きながら、不要な決まりについて見直しを行う。	3	保護者からの相談やアンケートへの意見をもとに、随時見直しを進めてきた。今後は児童の意見も聞きながら見直しを進めていく。	特に意見なし	児童や保護者の意見を踏まえながら、見直しを進める。

【評点】４：十分達成できた　３：おおむね達成できた　２：どちらかと言えば課題がある　１：課題がある